

解答

- 1 郵便（局） 2 末永（長）（く） 3 済（んだ） 4 幼（い） 5 棒
6 くう 7 （お）りこう 8 たば

二

4 ウ エ エ ア
3
2
1 オ

三

5 ウ ア ア エ オ
4
3
2
1

四

1 ① A エ ① B イ
2 ウ
3 エ
4 オ
5 イ
6 オ
7 ウ

五

1 ア、イ
2 オ
3 イライ
4 イ
5 ウ
6 時任さ
7 エ

解説

三

4 線④の前に着目します。尾長の声を聞いて秋の到来を感じる様子から、選択肢アが適切です。

5 選択肢ウの「自然のおだやかさ、激しさを擬声語によって」の部分が入さわしくありません。本文の中に「ぎい、ぎい」という擬声語が使われていますが、「自然のおだやかさ、激しさ」ではなく、尾長の鳴き声を表し、秋の訪れを表現しています。

四

4 線④に含まれる「きっぱり」とは「はっきり」という意味です。直前の発言で、先生が自分の意見を断言している様子から、選択肢オが入さわしいことがわかります。

7 五段落目にある「小さいころから」で始まる一文に着目すると、選択肢ウと同じ内容を言い表していることがわかります。

五

3 線③を含む段落の内容をおさえます。問題文の「具体的に」という文言に注意しながら、理由に該当する箇所を探すと、「イライ」から始まる一文が適当であることがわかります。

7 本文の終わりにある金本さんの発言に着目します。最後の一文に「最終的に、目先の困難に耐えられ、乗り越えられる人間になってほしいと思っています」から、選択肢エがこの文章の内容と合っていることがわかります。